

国

語

注意

1. 問題は全部で 21 ページである。
2. 解答用紙に氏名を忘れずに記入すること。
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題 **Ⅲ** は日本文学科・史学科・比較芸術学科受験者のみ解答すること。
5. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
6. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. HB の黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する番号の ○ を塗りつぶしなさい。○ で囲んだり × をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が 1 のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	2	3	4	5	6	7	8	9	0
---	----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。× をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

I

次の文章を読んで後の問に答えよ。

外国情報そとくわの咀嚼そくくによる意見提示は、我が国の知識人の役割である。とりわけ西洋思想の場合、それは、たんなる読者のための「翻訳」紹介」では足りず、学術的な「研究」「理解」でもまだ不十分であり、その外国情報を日本の現実に照らして十分咀嚼し、現実的政策決定のための質の高い「議論」にとって有効な「意見」として練り上げ提示することが求められる仕事、自国独立をめざした自国文明発展のための核となる幅広い仕事である。

「西洋知識導入」のために知識人は、まずは翻訳を行なう。

さて、ルソー思想が和訳されると、日本人の読者は、フランス語に通じているか否かにかかわらず、その和訳で読み、それについて、それをおして、母国語としての日本語の文脈でさまざまなことを考えられるようになる。たとえフランス語を知らなくても、したがってまた、原典への直接的アプローチにはならないとしても、母国語としての日本語を通じてそれなりにルソー思想に触れることができる。

こうして外国思想は、翻訳を通じてこそ、日本語と日本文化・日本文明の文脈に挿入され、日本文化・日本文明の構成要素になる。このとき、外国哲学のフランス語訳をもフランス哲学とみなすヴァンサン・デコンブにならって、翻訳され日本文化・日本文明の一部になったルソー思想を「日本思想」と呼ぶことに、それほど無理はない。

ここに、翻訳の知識人読者が原典に対してとるべき姿勢について、一見対立するかに見える二つの意見がある。一つは三木清*が、原典を過度に **A** し翻訳を **B** する学者の原典至上主義を批判して書いたものである。翻訳の知識人読者は、上記の観点から、過剰な原典至上主義を控え、翻訳を原典と比べ価値の劣ったものと見るのをやめ、翻訳に日本文化の一部としての地位を認めて、評価し利用すべしとする。翻訳を、外国文化が **C** され日本文化になったものと見る見方である。もう一つは丸山真男*が、漢学者・荻生徂徠*が中国語に対して維持していた異言語感覚・異文化感覚について語ったもの。翻訳の知識人読者が原典・原語・原文化と翻訳・日本語・日本文化との違いを意識することの重要性を指摘するものである。三木

は、原典に対する翻訳の地位回復を、翻訳を日本文化の一部とみなすことによつて主張し、丸山は、原典至上主義とは別のところで、原典の背後の原文化と翻訳の背後の日本文化の異質性を把握することの必要を説く。知識人は翻訳を、必要以上に原語に引きずられずに日本文化として読むべきなのか、それとも原語の文化と日本文化の D をつねに意識して読むべきなのか。読者の意識が向かうべきは日本文化なのか異文化なのかという点で、二つの意見は対立するかに見える。

三木清は小篇の中で、こう述べている。「哲学者ライプニッツもその必要を大いに認め、a 翻訳といふものの意味は、外国語を知らない者にその思想を伝達することにつきるものではない。思想と言葉とが密接に結合しているものである限り、外国の思想は我が国語をもつて表現されるとき、既にもはや単に外国の思想ではなくなつているのである。意味の転化がすでにそこに行なわれている。翻訳の重要な意味はここにある。ウ このことを考えるならば、翻訳でものを読むといふことは学問する者にとつて恥辱でないばかりか、必要でさえあることが分かる。中国や日本に於ける仏教の發達の場合を見よ。オ この独自の發達は原典ではなく、却つて翻訳書の基礎の上に行われたのである。或いはボエチウスによるアリストテレスのラテン訳が中世のスコラ哲学の發展に与えた影響、或いは聖書のルッテル訳がドイツ文化の發展に及ぼした影響などを想起すがよい。何でも原書で読まねばならぬと思ひ込んでいることが如何に無意味であるか分かるであろう。「輕蔑された翻訳」。これは、翻訳の持つ文明史的意義を評価することによつて、翻訳を原典への E から解放しようとするいわば文明史的翻訳論である。

他方で丸山真男は、加藤周一とのやり取りの中で、荻生徂徠を例にとり次のように述べている。荻生徂徠が中国語に堪能であつたにもかかわらず「本当は中国語も『侏儻馱舌』シヨリゲキセツ「モズのさえずりのように聞こえる異國語」なんだ、『學則』のなかでこう言つているのが大したことだと思ふ。「中国語の翻訳読者は」中国語を日本語と異質的なものと自覚しなければ、翻訳を読んでいるという意識がないから、『和臭』ウ をつけて、日本語の匂いをつけて読んでいるのに、中国の古典をじかに読んでいるつもりになつているのだ、と。そのままなら、中国語も『侏儻馱舌』になるだろうと言つている。徂徠は「まったく知らない」オランダ語と「熟知している」中国語を同じに見ている。方法論としてすこい。(中略)明治の初めについても同じくいえることは、つまり異文化の異質性を自覚し、それを完璧に認識しようという欲求が出てきたときに、比較的d にオリジナルな思想が出るのね。ちよつと逆

説的だけれど、そういう傾向がある。福沢しかり徂徠しかりです。『朋あり、遠方より来たる……』のまま読みつづけていたんじゃない、^{*}同文同種論みたいなもので、同じ文明という意識になってしまふ。徂徠はそこを越えた。^oだから徂徠がなければ宣長は出てこなかった。本居宣長が基本的影響を受けたのは徂徠の読み方というか、とくに古文辞学です。(中略)異質性の認識は価値の問題に転化して日本文化優越論になりがちなんだけれど、宣長の場合、たんなる日本主義にならなかったのは、「宣長の」『古事記伝』は「徂徠の『論語』注釈書である」『論語微』なしには出てこない方法的な基礎があつたからです。今言をもつて古言を解してはいけない、いまの言葉のイメージで古典を解釈してはいけない、という主張は両方に共通している。歴史的なちがいが異質文化の理解というのが歴史意識になり、いにしへの時代を理解するには、その時代の言語体系、^{*}ディスクールを知らなければだめだ、いまのディスクールをその時代に投影したらわからなくなっちゃうぞ、という考え方は、^f宣長と徂徠は完全に共通しているでしょう(『翻訳と日本の近代』)。これは、原典・翻訳それぞれが属する文化の異質性に着目する多文化主義的翻訳論である。

どちらを選ぶべきかは問題でない。翻訳をその知識人読者は、丸山が言うように原典・原語・原文化との異質性をつねに意識しつつ、三木が述べるとおり過度な原典主義を避けながら自文化として活用すべきである。実際、多くの翻訳の知識人読者はそれを実践している。

そして、このことを最も良く理解している、あるいは理解しているべきであるのは、翻訳の読者である前に翻訳者自身である。翻訳者は、いわば異文化と自文化の間で引き裂かれ、一方では自らの翻訳において原典の背後の異文化の異質性を読者に向かって表現しようとしつつ、読者の理解のために原典を咀嚼し日本文化のコンテキストに組み入れようと努める。翻訳者にとつての基本課題とは、この相対立するように思える二つの仕事、異文化表現と自文化咀嚼である。

(桑田禮彰『議論と翻訳』による)

注 *ヴァンサン・デコンブ＝フランスの哲学者。

* 三木清 || 哲学者。

* 丸山真男 || 政治学者。

* 荻生徂徠 || 江戸時代前期の儒者。古文辞学派。古文辞学派とは、古代中国語で漢籍を読み、経書を解釈しようとする儒学の一派。

* 同文同種論 || 国が違っても文字と人種も外見上同じであるという考え方。

* デイスクール || 言語による表現。

問一

空欄 A

B

にはそれぞれのような語が入るか。組み合わせとして最適なものを次の①～⑤から選び、

記号をマークせよ。解答欄番号は 1。

① A 忌避・B 排斥

② A 否定・B 肯定

③ A 尊重・B 軽蔑

④ A 賛美・B 称揚

⑤ A 嫌悪・B 崇拜

問二

空欄 C

に入れるのに最適な語を次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 2。

① 認識

② 解釈

③ 共有

④ 伝達

⑤ 咀嚼

問三

空欄 D

に入れるのに最適な語を次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 3。

① 共通性

② 異質性

③ 同質性

④ 優位性

⑤ 多様性

問四 傍線部 a「翻訳」というものの意味」とは何か。その説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **4**。

- ① 外国の思想を、自国の言葉で表現することによって、自国の思想こそ勝れていると再認識すること。
- ② 外国の思想を、自国の言葉で表現することによって、外国を知らない人に、その思想を伝達すること。
- ③ 外国の思想を、自国の言葉で表現することによって、自国の思想との相違を明らかにすること。
- ④ 外国の思想を、自国の言葉で表現することによって、外国の思想が勝れていることを自覚すること。
- ⑤ 外国の思想を、自国の言葉で表現することによって、その思想を伝達し、自国の思想の基礎とすること。

問五 次の文は、文中の A、オのどこに入るか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **5**。
このときおのずから外国の思想は単に外国の思想であることをやめて、我々のものとして発展することの出来る一般的な基礎が与えられるのである。

- ① A
 - ② イ
 - ③ ウ
 - ④ エ
 - ⑤ オ
- 問六 空欄 **E** に入れるのに最適な語を次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **6**。
- ① 統率
 - ② 随伴
 - ③ 所帯
 - ④ 支配
 - ⑤ 従属

問七 傍線部 b「文明的翻訳論」とはどういうものか。その説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。

解答欄番号は 7。

- ① 世界の文明の歴史を見渡した時、自由な翻訳の悪影響は大きく、翻訳書でものを読むことは恥辱とされたというもの。
- ② 世界の文明の歴史を見渡した時、誤った翻訳が文化に与えた影響が如何に無意味かは論ずるまでもないというもの。
- ③ 世界の文明の歴史を見渡した時、翻訳書が文化の発展に及ぼした影響は大きく、その価値は見過ごせないというもの。
- ④ 世界の文明の歴史を見渡した時、翻訳書がもたらした外来の思想に反発して自国の思想が発展したというもの。
- ⑤ 世界の文明の歴史を見渡した時、翻訳書によって外来の思想がもたらされるたび、自国の思想は、外来の思想にとってかわられたというもの。

問八 傍線部 c「和臭」とはどういうことか。その説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番

号は 8。

- ① 日本語で読み下すということ。
- ② 音読みするということ。
- ③ 現代日本語訳するということ。
- ④ 日本風に翻案するということ。
- ⑤ 注釈するということ。

問九 傍線部d「オリジナルな思想」とは具体的にどのような思想か。その説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **9**。

- ① 翻訳は複製に過ぎないため、原書を原文の外国語で理解しようとする思想。
- ② 異国からもたらされた既存の思想ではなく、新たに作り出した自国中心な思想。
- ③ 異国には存在しない、世界に唯一無二の、他に例を見ない思想。
- ④ 既存の思想にとらわれず、中国の古典を古言で読解しようとする思想。
- ⑤ 翻訳される前の、原書に外国語で書かれたそのままの思想。

問十 傍線部e「だから徂徠がなければ宣長は出てこなかった」とはどういう意味か。その説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **10**。

- ① 中国の古典を崇拜した徂徠がいなければ、それに反発して独自の日本文化を崇拜しようとする宣長は出てこなかったということ。
- ② 中国の古典の異質性を自覚した徂徠がいなければ、日本の古典の異質性を認識する宣長は出てこなかったということ。
- ③ 中国の古典の異質性を否定した徂徠がいなければ、それに追隨して日本主義を推し進めた宣長が出てこなかったということ。
- ④ 中国の古典の異質性を乗り越えて同化しようとした徂徠がいなければ、宣長の『古事記伝』は出来なかったということ。
- ⑤ 中国の古典と日本文学の同文同種論の徂徠がいなければ、その先に単なる日本主義以上の宣長が出てこなかったということ。

問十一 傍線部 f「宣長と徂徠は完全に共通しているでしょう」とは何が共通しているのか。その説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **11**。

① 古代中国語を学ばなければ、日本文化を理解できないという認識

② 日中の異質性や、日本文化が優越しているという認識

③ 古代の言語体系を今の時代に投影しなくてはならないという認識

④ 日中の歴史・文化の異質性や、今と昔の言語体系の相違の認識

⑤ 日本文化を知るために、当時の中国語を学ばなくてはならないという認識

問十二 この文章の内容と合致しないものを一つの①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **12**。

① 日本人の読者は、外国思想を、翻訳によって、生まれ育った日本の言語と日本文化・日本文明の文脈に取り込むことで、理解できるようになる。

② 異質性を認識することで、初めて異文化と自文化を理解することが可能になる。

③ 翻訳者の基本的な課題は異文化を表現することと、自文化を咀嚼して異文化のコンテキストに組み入れることである。

④ 古い言葉を、今の言葉をもって理解しようとしてはいけない。

⑤ 翻訳を読む際に、原語の文化との異質性を意識すべきか、すでに日本文化に転化されたものとみなすべきかという点は一見対立するかに見える。

II

次の文章を読んで後の間に答えよ。

快晴のロサンゼルスに到着したその日に、スピードオーバーで警察に捕まりながらもたどり着いたその場所は、写真で何度も見ていたあの有名なシエラネバダ山脈を背景に静かに佇たなずんでいた。モノクロ写真の向こう側と同じように、空は冴え渡るように青く澄んでいた。収容所跡の傍らには「マンザーナ・ナショナル・ヒストリック・サイト」と名づけられた瀟洒しょうしやな資料館が建てられていて、私はそこに勤める白人の男性と会話をする機会を持つことができた。彼は私の親族が収容されていたと知ると何度も「申し訳ない」という意味の言葉を口にしたが、その会話のなかで私は「ラルフ・ラゾ（一九二四—一九九二）」という人物の名前をはじめて耳にした。アイルランドの血を含んだメキシコ系アメリカ人であるラルフ・ラゾは、日系人の友人を追って大戦中に自ら強制収容所に入った人物として知られていた。私が訪れた二〇〇四年は、偶然にもラゾの半生を扱った三〇分ほどのシヨート・フィルムが制作された年でもあった。人種や民族を異にしながらも「友情」を仲立ちにして収容所へと赴くことができたラゾのような人物と、そのような心性をはぐくんできた歴史的背景に私は徐々に興味を引かれ、旅をするあいだも心の奥底につねにラゾがいたように思う。

メキシコ人と日本人の邂逅かいこうというとすぐに、チカーナとロサンゼルスで結婚した日系二世の作家セツシュー・フォスターや、日系二世の女性と戦後すぐに日本で結婚したチカーノ研究の泰斗アメリカ・パレーデスを思い起こすことができる。どちらの書き手も文化と文化のはざままで思考し国家原理に収まらない文章を、詩集や小説や研究書として残してきた。メキシコ人は「米墨戦争（一八四六—四八）」でアメリカに敗北し領土を割譲され、一〇〇年を挟んで日本人は「太平洋戦争（一九四一—四五）」でアメリカに敗北した。アメリカという大国と接する共通点を持つ日本人とメキシコ人の出会いにはどのような意味があるのだろうか。太平洋を越えてアメリカで両者を邂逅させた「グローバリゼーション」が及ぼす力とは何か。

情報機器や交通手段の発達とともに加速するグローバリゼーションは、やがて身振りや口調や常識や習慣などあらゆる面において、人びとを特定の規格のなかに押し込めようとするだろう。そこには、市場を海外に求める「経済」や他国とのセツシヨウセツシヨウを

行う「政治」が国境を越える動きをあと押しする。その過程で通常ならばけつて出会うことのない人びとも出会うことによつて、私たちはすでにヴァナキユラーな次元で獲得している視線や感性をグローバリゼーションに則したものと「歪めて」いくのである。^a「西洋の衝撃」とはグローバリゼーションに直面した西洋以外の人びとが受ける衝撃であり、多様な歴史を西洋のものへと軌道修正する際にもなう痛みのことである。^{*}マクルーハンが「グローバル・ビレッジ(地球村)」という言葉で暗示したように、私たちは価値観を共有できないにもかかわらず、お互いがお互いを無視することができない世界に住むようになってきているのである。^b不快な他者を無視し、見えない他者とするために「境界線」は利用される。

グローバリゼーションが「世界(グローバル)を単位としたひとつの国家」へと向かわないひとつの理由は、グローバリゼーションの「内実」が、おもに経済力と政治力を背景にした特権的な地位にいる者たちによる

A

越境によつて行われる暴力的

な側面が強いからである。アメリカの暴力的なグローバリゼーションによる越境を、メキシコと日本は一〇〇年の時間差のなかで経験しているが、欧米の基準をそれ以外の地域に押しつける動きは「狭義のグローバリゼーション」でしかない。グローバリゼーションが世界を覆うことができないもうひとつの理由は、ナシヨナリズムが国内に「非」国民を創出することによつて「国民」を逆照射して措定するような方法では、全世界を網羅することができないからである。^{*}アモルファスな言語状況のなかから選ばれた特定の「言語の固定化」が、集団の成員が同じ集団に属しているという意識をはぐくんだようには、世界にはナシヨナリズムを刺激するような「外部」は存在しない。

したがつて、国民国家内にかつてカラまり合うように存在した言語や人種や民族や文化などのあらゆる境界線が薄められ消滅していくのとは異なり、グローバルなレベルでの重層的で複雑な境界線は消滅していない。それどころか、それまで近代^e的な認識方法では存在が感知されなかった多様な境界線や差異が浮き彫りにされるようになった。インディアンの視点も尊重しながら「フロンティア」を描いた『インディアンのフロンティア』で著者は数枚の地図を採録しているが、インディアンが西洋に駆逐される前は、境界線はまったく引かれていない。彼らを閉じ込めることによつてはじめて境界線は姿を現したのである。グローバリゼーションを通して「近代的概念」に接することで境界線は顕現化する。しかし、複雑な状況を一義的な境界線によつて表現す

ることはそもそも不可能である。米墨国境をアメリカからメキシコへ抜ける場合とその逆では障壁の度合いが異なるにもかかわらず、メキシコから見た米墨国境線とアメリカから見た米墨国境線を私たちは次第に同じものと見てしまう。地図上に引かれた線分で同じ意味をもつものはない。結果的に、グローバリゼーションを経験したあとの土地には「消滅した境界線」と「顕現化した抵抗する境界線」、そしてグローバリゼーションの影響によって「新たに生まれた境界線」が同一の形をした線分によって併存するようになった。その結果、地図には表現できない境界線のあり方は従来よりも錯綜した様相を呈している面があり、グローバリゼーションによって世界は複雑化していると言えるだろう。

グローバリゼーションは「時間と空間の圧縮」によって時空間を均していくようなある種の非在郷(ユートピア)に向かっているというよりも、入り組んだ重層的な時空間を併せもつ「混在郷(エテロトピ)」を形成する役割を担っている。「場所」は必ずしも境界線で囲むことによって「現れる」ものではなく、収縮し拡張し飛び地になり薄くなったり濃くなったりするトポスである。空間は囲まれることによって他の空間と区別をすることになり、それによって内部を均質化しようとする動きがともなってしまう。

支配する側に有利な固定した人種言説が近代の産物であるとは異なり、さまざまな「ところ」で引かれている「線」は思いがけない方法で思いがけないものを結びつけることができる。家族や地域社会や会社や学校や宗教、そしてまたそれ以外の多様なつながりによって私たちはさまざまなレベルで集団を形成している。それら複数の共同性のなかの「民族」や「人種」のみに焦点を当てることによって時間と空間は歪曲し硬直する。したがって、ヒスパニックのような人種や宗教や言語内の複数の「線」を内に併せもつた人びとはセンサス(人口調査)を攪乱する無秩序な存在ではなく、民族や人種以外の紐帯を照らし出す存在として意義をもつようになる。たとえば、スペイン語、英語、カロ(チカーノ)の使用する混成言語、ナワトル語などの多言語の個人における構成や布置が、その人のアイデンティティを決めるのである。*
ドゥルーズは「線」について次のように述べている。

私たちが「地図」とか「ダイアグラム」と呼んでいるのは、同時的に機能する多様な線の集合のことです。じつさい、じつさいさまざまなタイプの線があるわけで、しかもそれを芸術にも、ひとつの社会のなかにも、ひとりの人間のなかにも見出すこ

とができる。

そこでは、「芸術」や「社会」や「人間」のなかに引かれている種々の境界線が交錯している。彼らのあいだにゆるやかに横たわっている近代的・排他的ではない境界線のことを、私はここで「薄墨色の境界線」と呼んでみたいと思う。「薄墨色の境界線」は面積をもたない「理念としての近代的な境界線」ではなく、それ自身が面積をもつ「境域」であるとともに、他の境界線とカラミ合い重なり合う境界線である。

一九四〇年代前半に、メキシコ系アメリカ人のラルフ・ラズが日本人の側へと躊躇することなく容易に飛び込めたのは、まさしくこのようなグローバリゼーションの副産物としての「出会い」のおかげであり、そこには人びとのあいだを切断するような境界線ではなく「薄墨色の境界線」が引かれていた。だから、ラズは向こう側に「飛び込む」というよりも、ただ「薄墨色の境界線」のなかを移動しただけだったのかもしれない。混血のメキシコ人を生んだ一六世紀以来のグローバリゼーション（ヨーロッパ人による大航海時代が生んだ混血と差別）と、日系アメリカ人を生んだ一九世紀以来のグローバリゼーション（通信機器や交通機関の発達と資本主義が生んだ富の偏重）による両者の邂逅がもたらした「薄墨色の境界線（境域）」は、さまざまな時代の出来事を内に湛えた「太平洋」そのものの比喩でもあるだろう。

（井村俊義『チカーノとは何か―境界線の詩学』による）

注 * 収容所Ⅱ第二次世界大戦にアメリカ合衆国ロサンゼルス州に作られた日系人収容所。

* チカーナⅡメキシコ系アメリカ人を意味する「チカーノ」の女性形。

* ヴァアナキュラーⅡ土着的。

* マクルーハンⅡマーシャル・マクルーハン（一九一〇—一九八〇）。カナダの文明批評家。メディアと人間社会の関係を研究。

*アモルファスⅡ原子や分子が不規則に集合している状態。ここでは、無定形の意味で用いている。

*トボスⅡ議論に關係する事柄や話題を發見する場所を本来意味する。人間存在にとって重要な場所についても言う。

*ドウルーズⅡジル・ドウルーズ(一九二四—一九九二)。フランスの哲學者。

問一 波線部「セツショウ」に当てる漢字として最適なもの^①～^⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **13**。

- ① 切省 ② 説証 ③ 接渉 ④ 節照 ⑤ 折衝

問二 傍線部 a「西洋の衝撃」を筆者はどのように捉えているか。その説明として最適なもの^①～^⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **14**。

- ① 西洋以外の人々が、西洋の圧倒的な軍事力に抵抗することが全くなかったこと。
② 西洋以外の人々が、西洋に対抗するために、政治・経済を西洋的な規格に合わせたこと。
③ 西洋以外の人々が、生得の見方や感じ方を、西洋の規格に合うように強制されたこと。
④ 西洋以外の人々が、西洋の進んだ科学技術に驚き、西洋化をめざすようになったこと。
⑤ 西洋以外の人々が、常識をはるかに超えた西洋の理解のために必死の努力を重ねたこと。

問三 傍線部 b「不快な他者を無視し、見えない他者とするために『境界線』は利用される」とはどのようなことか。その説明として最適なもの^①～^⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **15**。

- ① 川などの境界線の向うの不便な場所に、自分たちと言語の異なる人々を強制的に移住させること。
② 特別に高い壁を造ることで、気の合わない隣人がこちら側を見ることができないようにすること。
③ 山などの自然の境界線を利用して、価値観を共有できない人々を、実際に視界の外に追い出すこと。
④ 境界線を設けて、価値観を共有できないがともに住むしかない人々を、そこに居ないものとする事。
⑤ 口をきかない、などの心理的境界線を作ること、不快な相手の存在を心の中から抹殺すること。

問四 空欄 A に入れるのに最適の語を次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 16。

- ① 突発的な ② 感情的な ③ 宗教的な ④ 一方的な ⑤ 偽善的な

問五 傍線部c「狭義のグローバリゼーション」と、この文章で論じられている「グローバリゼーション」の違いは何か。この後に続く文章も読み、説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 17。

- ① 「狭義のグローバリゼーション」は二〇世紀における西洋的価値観の世界的広がりの意味するのに対して、「グローバリゼーション」は二一世紀における西洋・非西洋の再編を意味する。

- ② 「狭義のグローバリゼーション」は戦争時の国境線の拡大を意味するのに対して、「グローバリゼーション」は平時における普遍的価値の世界的な広がりを意味する。

- ③ 「狭義のグローバリゼーション」は西洋の規格を暴力的に押し付けるものであるのに対して、「グローバリゼーション」は多様性を含み、意想外の出会いを可能とするものである。

- ④ 「狭義のグローバリゼーション」は通信機器や交通機関が未発達な段階の小規模なものであるのに対して、「グローバリゼーション」はインターネットによる世界的規模のものである。

- ⑤ 「狭義のグローバリゼーション」は多様性を容認するものであるのに対して、「グローバリゼーション」は均質な世界国家の樹立をめざすものである。

問六 傍線部 d「ナショナリズム」は、どのように生み出されると筆者は考えているか。その説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **18**。

- ① 対抗する外部があつて、初めて生み出される。
- ② 同じ言語を使う集団の中で自然に生み出される。
- ③ 激しい宗教的対立を通じて生み出される。
- ④ 国民国家内で境界線が消滅した反動として生み出される。
- ⑤ 社会の内部と外部の均衡が破れた時に生み出される。

問七 波線部 2「カラ」に当てる漢字として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **19**。

- ① 交
- ② 絡
- ③ 摺
- ④ 略
- ⑤ 縛

問八 傍線部 e「近代的な認識方法」とはどのようなものか。その説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **20**。

- ① 人種・民族・言語などで人間を明確に区別する認識方法
- ② 地図によって俯瞰的に人間の居住地域を捉える認識方法
- ③ 人間の文化を数量的に捉える合理的な認識方法
- ④ 経済的な効率や生産性を最重要視する認識方法
- ⑤ 複雑な現実を複雑なままに正確に捉える認識方法

問九 傍線部「障壁の度合いが異なる」とあるが、どのように異なるのか。その説明として最適なものを次の①～⑤から選び、

記号をマークせよ。解答欄番号は 21。

- ① 軍事的に、アメリカには容易に越えられる境界であるのに対して、メキシコには越えることのできない境界である。
- ② アメリカにとっては不快な他者を追い出す境界であるのに対して、メキシコにとっては憧れを抱かせる境界である。
- ③ 外国人旅行者は、アメリカからメキシコに入ることには壁を感じないが、メキシコからアメリカには高い壁を感じる。
- ④ アメリカからメキシコへの入国は規制がないが、メキシコからアメリカへの入国は厳しく管理されている。
- ⑤ アメリカにとってはメキシコを駆逐する境界であるのに対して、メキシコにはとっては駆逐された側の境界である。

問十 傍線部「思いがけない方法で思いがけないものを結びつけること」の具体例として考えられる最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 22。

- ① 異なる宗教を信仰する人々が、それらの宗教に対して中立的な国に偶然招かれて友人となる。
- ② 異なる部族のネイティブ・アメリカンが、アメリカの大都会の一角で隣人となる。
- ③ 通信機器の発達によって紹介された伝統社会の芸術が、現代芸術に大きな影響を与える。
- ④ これまで無関係と思われていた民族が、遺伝子検査によって、近い存在であったことがわかる。
- ⑤ 第二言語として同じ言語を使っている、遠くに住む人種の異なる人々が、インターネットで知り合う。

問十一 傍線部h「ラルフ・ラズが日本人側へと躊躇することなく容易に飛び込めた」のはなぜか。その説明として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 23。

- ① メキシコ系であつても日系であつてもアメリカ人に変わりないという意識が、ラズには強かつたから。
- ② アメリカから抑圧されたメキシコ人の血を引くラズは、アメリカから抑圧された日系人を同類と見なしたから。
- ③ 日系人の友人を持つたことにも表れているように、ラズには人種差別の意識があまりなかつたから。
- ④ アメリカから抑圧されたメキシコ人の血を引く者として、ラズはその歴史的体験を日系人に伝えたかつたから。
- ⑤ 強い宗教心と使命感を持っていたラズは、人種が違つても抑圧された人々を救いたいと思つたから。

問十二 二重傍線部「アメリカという大国と…(中略)…及ぼす力とは何か。」という問いに対する筆者の結論として合致しないものを一つ次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 24。

- ① 多様な境界線を含むグローバリゼーションは、人種を超えた人と人との出会いを可能にした。
- ② 日本人とメキシコ人の出会いは、グローバリゼーションによる境界線の消滅を示している。
- ③ グローバリゼーションは、差別的一義的ではない、ゆるやかな境界線を含んでいる。
- ④ 日本人とメキシコ人の出会いは、近代的な認識方法を超えるものである。
- ⑤ グローバリゼーションによつて、むしろ世界は複雑なものとなっている。

以下の問題は、日本文学科・史学科・比較芸術学科の受験生のみ解答すること。

III

次の文章を読んで後の間に答えよ。

恋ひ恋ひて人にことごと恋死なばもえんけぶりAの香やせん

『六帖』に有り。『白毫式』に、むかし天然に術婆迦といふ童子あり。その母年ごろに后につかへまつりにけり。このわらは、おもはずに后を見奉りけるより、いかでかとおもふ心つきて、人知れずいもねずやせゆきけり。母あやしみて問へど、いはずして物思へるけしきあらはなり。母のいはく、何によりてか我にかくすべきとせめければ、ありのままに答へけり。母思ひくらしうはく、江のほとりに行きて魚を釣りにて毎日に来れ。我取り次ぎて后に奉らんと教ふ。これによりて日ごとに鯉を釣りにて来たれば、したがひて母これを后に奉る事三年になりぬ。后、心ざしの深き事をあはれびて、よき隙ひまに問ひたまふ。いかなる事を思ひてするわざぞと。母恐れながら、このわらはの思へる事をもらし申す。天然のならひ、心に思ひ詞にいひつる事をたがへざりければ、逢ふべきよしを契り給ひつ。后、便を得んことかたければ、はかりごとをなしてのたまはく、術婆迦先づ自在天神にまゐり宝殿の内にかくれをれ。参りて逢はんと契りて御幸して自在天神の宝殿に御輿こしをよせて、一夜すごさB給ふ。人静まり夜ふけて后、術婆迦をる処に行き給へるに寝いりて知らず。そのしるしに玉のかんざし一筋を置きて、輿こしのもとへ帰り給ひぬ。また行き給へるにおどろかず。そのしるしに又かんざし一筋を置きて帰り給ひぬ。ここに母術婆迦に問ふに、寝いりて覺えず。ただこの玉のかんざしばかりありと答ふ。母今はちから及ぶべからずといふを聞きて、術婆迦が胸より火出で来て、もえて煙に成りて失せぬと云々。かの鯉を釣りにて事を通ぜしよりAとはいふなり。

(『和歌童蒙抄』による)

注 *『六帖』、『古今和歌六帖』。平安中期、十世紀に編纂された類題和歌集。

*『白毫式』は現在散佚。和歌の作法などを説明した書物であったか。

問一 二つの空欄

A

に入れるのに最適な語句を次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

25。

① 夢

② 恋

③ 魚いさ

④ 花

⑤ 母

問二 傍線部 a「つかへまつりにけり」のここでの意味として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号

は 26。

① 差し支えがあった

② 使いを差し向けてきた

③ お仕え申し上げてきた

④ 深い敬意を持っていた

⑤ 使者に物を献上させていた

問三 傍線部 b「いかでか」の内容を補った訳として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

27。

① どうしても后にお逢いしたい

② どうしてもいいかわからない

③ なんとかして母にお願いしたい

④ どうやって今日一日を過ごせばよいのか

⑤ 后に逢うことができるだろうか、いやできない

問四 傍線部「い」に当たる漢字として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **28**。

- ① 居
- ② 齋
- ③ 入
- ④ 易
- ⑤ 寝

問五 傍線部「d」我取り次ぎて后に奉らんと教ふ」の意味として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番

号は **29**。

- ① 私が間に立って、后にお前が釣った鯉を献上しよう、と母は術婆迦に教えた。
- ② 私が取り次いで、后に母が釣った鯉を献上しよう、と使者は母に教えた。
- ③ 私が仲介して、お前が后にお仕えできるようにしよう、と母は術婆迦に言った。
- ④ 私がつてを頼って、母が后にお仕えできるようにしよう、と術婆迦は母に言った。
- ⑤ 仲介者を見つけて、后にお前が釣った鯉を献上するのがよい、と母は術婆迦に助言した。

問六 傍線部「わざ」の具体的な内容の説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

30。

- ① 鯉を釣る優れた技量を披露すること
- ② 変わることもない忠誠心を示すこと
- ③ 毎日母が使者を遣わしたこと
- ④ 毎日釣った鯉を献上すること
- ⑤ 鯉を難なく釣ること

問七 傍線部 f「心に思ひ詞にいひつる事をたがへざりければ」の意味として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **31**。

- ① いい加減に心に思い、口に出したことなどは気にする必要がないので
- ② 心に思うばかりで、口に出さないでいると、本心に背くことになるので
- ③ 人が心に思い、口に出して言ったことに背くことはしないので

④ 自分が心に思い、口に出して言ったことは絶対に忘れてはならないので

⑤ 心に思うことをそのまま口に出すことは、人間本来のあり方ではないので

問八 空欄 **B** に入れるの最適な語を次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **32**。

- ① ざり
- ② しめ
- ③ まほし
- ④ じ
- ⑤ めり

問九 傍線部 g「寝いりて知らず」の主語は誰か。次の①～⑤から一つを選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **33**。

- ① 后
- ② 母
- ③ 語り手
- ④ 術婆迦
- ⑤ 使者

問十 傍線部 h「また行き給へるにおどろかず」の意味として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **34**。

① また后がいらつしやつたが、母は驚かない。

② また術婆迦も様子を見に行つたが、后は驚かない。

③ また母も見に行かれたが、術婆迦は気づかない。

④ また后は御所にお戻りになつたが、術婆迦は目がさめない。

⑤ また后がいらつしやつたのに術婆迦は目がさめない。

